

会場までのアクセス



瀬戸万博記念公園の概要

- 愛称 愛・パーク
- 整備面積 12,755.05m²
- 屋外施設 天水皿¹、EXPO100万本の森、芝生広場、つばき園、あずまや、モリゾー・キッコロ遊具、駐車場(36台) など
- 管理棟 延床面積244m²
展示室スペース、トイレ、管理室
屋上：展望デッキ、モリゾーとキッコロのモニュメントなど

問い合わせ先/瀬戸市都市整備課 0561・88・2726
愛・パーク事務室 0561・82・0189
(あいぱーく)

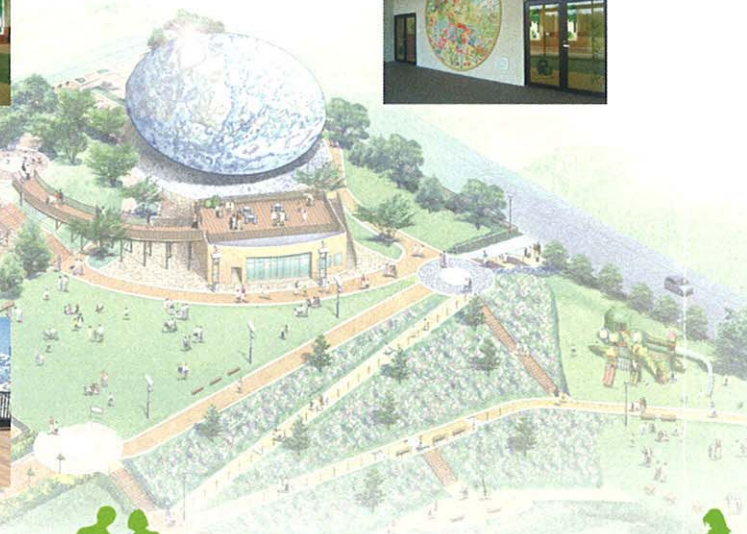


2005年、愛・地球博が瀬戸市で開催されました。世界中から多くの人々が集まり、ふれあい、語りあい、みんなで夢を描いた6か月。この感動の記憶を未来に伝えていくことが大切です。

「愛・パーク」は、そんな思いをみんなで育てていく「場」、新しい交流の拠点です。

シンボルは「天水皿[®]」。愛知万博を後世に伝える記念モニュメントとしてだけでなく、世界のやきもの交流ネットワークのシンボルでもあります。

愛知万博のコンセプトでもあった「市民参加」。瀬戸会場では、市民参加により多彩なイベントが繰り広げられました。このすばらしい成果を未来にバトンタッチしていくためにも、みんなで育て、創っていく公園にしていきたいです。



天水皿[®] (てんすいさら えぬじょう)

多くの市民、企業、団体の参加と国内外20の陶磁器産地の協力で、愛知万博構想発祥の地瀬戸会場に出品されたモニュメント。それは、天の水を受ける皿「地球」を意味し、「n乗」は世界の陶磁器産地から集まった皿と子供たちが描いた皿30,000枚を示しています。

地球は大きなお皿。雨を蓄え、そして生物が誕生し、現在の生命が宿る星、地球ができました。この地球誕生の源となった水をイメージしデザインが描かれています。

このモニュメントには、やきもの可能性を未来に繋ぐ夢と希望が込められています。



天水皿[®]の概要

- 大 き さ 直径/30m 高さ/(高い部分)10.5m (低い部分)2.3m
- デザイン 日比野克彦氏
- 制 作 加藤作助氏、加藤令吉氏
- 制作に使用した陶磁器 皿/30,000枚 モザイクタイル/540,000枚
- 皿の提供先 瀬戸焼、美濃焼、常滑焼、四日市萬古焼、信楽焼、伊万里・有田焼、京焼・清水焼、九谷焼、越前焼、丹波焼、備前焼、益子焼、笠間焼、景德鎮市(中国)、利川市・広州市(韓国)、リモージュ市(フランス)、ナブル市(チュニジア)、英国陶業連盟(イギリス)、リチャード・ジノリ社(イタリア)、カラ社(ドイツ)
- モザイクタイルの提供先 (株)INAX

